

平成31年

目黒区教育委員会

第2回定例会会議録

(平成31年1月15日開催)

第2回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成31年1月15日

開催場所 教育委員会室

| | | |
|------|---------------|--------|
| 出席委員 | 教育委員会教育長 | 尾崎 富雄 |
| | 教育委員会教育長職務代行者 | 後藤 幸子 |
| | 教育委員会委員 | 中山 ひとみ |
| | 教育委員会委員 | 櫻井 道雄 |

| | | |
|------|----------|-------|
| 出席職員 | 教育次長 | 野口 晃 |
| | 教育政策課長 | 山野井 司 |
| | 学校統合推進課長 | 和田 信之 |
| | 学校運営課長 | 村上 隆章 |
| | 学校施設計画課長 | 鹿戸 健太 |
| | 教育指導課長 | 田中 浩 |
| | 教育支援課長 | 酒井 宏 |
| | 統括指導主事 | 寺尾 千英 |
| | 統括指導主事 | 古舘 秀樹 |
| | 生涯学習課長 | 馬場 和昭 |
| | 八雲中央図書館長 | 増田 武 |

| | | |
|----|--|--------|
| 書記 | | 小野塚 幸隆 |
| | | 山東 隆博 |

(議事日程)

| | | |
|------|------|-------------------------------------------|
| 日程第1 | 報告事項 | 区立小学校におけるいじめの対応について |
| 日程第2 | 報告事項 | 平成30年度教育施策説明会(後期)の実施結果について |
| 日程第3 | 報告事項 | 生命等にかかわる重大事態発生時対応マニュアル【いじめ問題対策】(案)の修正について |
| 日程第4 | 報告事項 | 冬季休業明けの児童・生徒の欠席状況について |
| 日程第5 | 報告事項 | 平成30年度小中学校卒業式祝辞について |
| 日程第6 | 報告事項 | 平成31年成人の日のつどい実施結果について |
| 日程第7 | 報告事項 | 教育委員会名義の使用承認状況について |

(午前9時30分開会)

○教育長 第2回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員は笹尾委員です。欠席職員はございません。署名委員は櫻井委員です。

それでは、日程第1を議題とします。

この案件は個人情報に関する案件ですので、目黒区教育委員会会議規則第11条第1項ただし書きの規定に基づき、会議を非公開にすることについて発議します。それでは、同条第2項の規定に基づき、討論を行うことなしに、直ちに可否を諮ります。

非公開とすることに賛成の委員の挙手を願います。

(全員挙手)

○教育長 それでは、日程第1については、非公開により審議することといたします。

(午前9時32分、非公開会議入る。)

(午前9時44分、非公開会議終わる。)

○教育長 ここから会議を公開といたします。
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 平成30年度教育施策説明会(後期)の実施結果について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はありませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 生命等にかかわる重大事態発生時対応マニュアル【いじめ問題対策】(案)の修正について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

- 教育長 この件についてご質問等はございませんか。
- 委員 重大事態を想定した訓練を行ったということで、訓練を行った感想で結構ですので、率直なところをお聞かせいただけますか。
- 説明員 今回、訓練日に向けて、それぞれ学校側の話す内容を用意しました。どのような内容を情報提供すればいいのか苦戦しました。
- 今回は、保護者も実際に事実を認めて、それを伝えていい、すぐ調査をしていいという比較的オーソドックスな内容でしたが、それでも台本をつくるのにかなり時間がかかったということ、実際に行ってみると、もっと取材が来るのではないかと、子どもたちの中で噂が広がっているのではないかと等さまさま見えてきた部分があります。教育長からもあらゆる事例を想定しながら訓練は繰り返し必要だという指摘を受けまして、事務局としては重い仕事をさせていただいたという感想を持ちました。
- 委員 教育長から指摘があったということですがけれども、訓練は常に行っていないとうまくいきません。今後も事例を変えたり、過去に起きた事例を参考に修正して行うということが必要になってくると思います。
- 最初はオーソドックスな事案でいいと思いますけれども、保護者と対立関係にあるような状況も予想されます。不幸な事件は他の自治体でも過去にあるので、その初期対応なども参考にしながら訓練を行っていただければいいと思います。
- 説明員 ご指摘いただいた過去に発生した事例、とりわけ公になっているものは保護者と対立した事案が多いと思いますので、こういった事案も研究しながら、今後どれぐらいのスパンで訓練をするのかも含め、研究してまいりたいと思います。今回マニュアルをつくるに当たって、実際に訓練をして、こういった台本等を学校に示すことが、抑止につながっていく可能性はかなり高いという感想は持っておりますので、改めて学校とともに共有していきたいと思っております。
- 委員 私は訓練で電話を受けた者として、感想を話させていただきます。亡くなったということで、その事実だけを伝えていただいて、おしまいだったのでけれども、その後の報告はないのでしょうか。どの時点で私たち委員に正確な情報が聞けるのかというところがわからないまま1日終わってしまって、訓練だったのでそれでいいと思いますけれども、今後の情報の提供の仕方もしっかり詰めていただいて、情報を出したままにしておくと、よからぬ噂

にもなりますし、大人の私たちでも何でだろう、噂を聞いたりとかいろいろ考えてしまうので、その辺の情報をしっかりと逐次提供していただきたいと思います。

○説明員 大変失礼いたしました。あわせて、当日中に記者会見あるいは保護者、臨時保護者会をしますので、そういった状況についてもお知らせしていかなければいけない内容だと思いますので、教育委員の皆様への情報提供について詰めてまいります。

○教育長 このマニュアルの中で一番重要なところは、公表のあり方だと思います。記者会見のあり方もですが、どのように周知していくかということです。

ここには留意点などいろいろ書かれておりますけれども、実際にこのいじめの重大事態、公表するに当たっての記者会見のあり方についてはもっと深く掘り下げるべきだと思います。必ず記者会見することとなっておりますけれども、そもそもいじめの重大事態に関してどう公表していくかというあり方論を、第三者も含めて詰めていくべきだと思っています。

どういう場合に公表するのかわからないのか、記者会見するのかわからないのかという考え方をしっかりと持って、きちっとした体系的なものとしてまとめていく必要があると思っています。

具体的に各論の部分に入ったときには、いろいろ留意事項も書かれておりますけれども、基本的には個人情報の取扱いが一番重要だと思います。記者会見を開きますと記者はいろいろなことを聞いてきます。そのときに、例えばお子さんに障害があったといったことは、記者会見では絶対言うてはいけないわけです。例えば生活保護を受けていたかとか、そういったことは公に知らしめる必要は全くないわけで、勢いで言うてしまう可能性もあるので、そういったことは文書にまとめておく必要があるかと思っています。

それから個人情報に関連して、どこの学校か、どこの地域に住んでいる子かといったようなことも、場合によっては避けなければならない場合もありますし、一番重要なのはセンシティブ情報といって、思想、信条、宗教的なものを答えた場合には、憲法と照らし合わせても厳しいものになるので、そういったことについて一括した理念、基本的な考え方をまとめないと、しっかりとした対応ができないと思っています。

今回、訓練をやった意義は大きかったと思います。しかし、第1版といいますか、これが未来永劫続くマニュアルではなく、第

2版、第3版への修正も視野に入れたいといけないと思います。

何度も申し上げるようですが、いじめの重大事態に対する公表のあり方、あるいは記者会見のあり方というのは議論しないと、なかなかその実態が見えてこない。その場合には教育委員会内部だけで議論するのではなくて、第三者も含めた検討組織の中で議論していただきたいと思います。これは要望です。

- 教育長 その他ご質問等ございますか。
 特にないようですのでこの報告を受けました。
 次に日程第4を議題とします。

(日程第4 冬季休業明けの児童・生徒の欠席状況について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はございますか。
 特にないようですのでこの報告を受けました。
 次に日程第5を議題とします。

(日程第5 平成30年度小・中学校卒業式祝辞について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はございますか。
○委員 なかなか難しいですが、バランスからいくと、中学校でノーベル医学・生理学賞がいいと思います。癌という言葉も、中学生だったらもうわかっているから、そういう研究、薬を開発された方だというのは割と理解しやすいと思います。6つのCは、中学だから英語を出してもいいと思うし、話としてはつくりやすいと思います。

小学校は、ハニカム構造はいいと思いますが、今年の折り紙のような、折り紙が開いて宇宙船の羽になるみたいな、画像が浮かぶようなものが出せないかなと思います。

何と比べるとこの六角形がいいのかがわからないと、ハニカム構造と言われても何だかよくわかりません、で終わってしまうという心配があると思います。

小学校には、新幹線は本当にわかりやすいものだから、今の段階だとむしろ安全策とすればこの新幹線も無難かなと思います。

- 委員 中学校でノーベル医学・生理学賞を題材にするのはわかりやす

と思います。中学生なら、癌についても知識があるだろうし、6つのCというところは興味深く聞くところと思いました。

小学校が難しいなと思います。私もハニカム構造はいいと思っていたのですが、翼の中がハニカム構造になっていて強度が保たれているのかイメージしにくい。そして強度だけの落とし込みになると、題材としては薄い内容になってしまうと思います。

書き方だと思いますが、ハニカム構造は、子どもたちがイメージする蜂の巣からの書き方が難しいと思います。私としては新幹線は悪くないと思っています。

日本の新幹線が世界のどこかの国で走るということで、インドのイメージがつくか、日本の新幹線の技術が生かされ、インドの生活を変えていくというところのイメージが持てるかどうかは難しいかと思いますが、おもてなしも入れられるということなので、まず新幹線という物理的な物に対してはわかりやすいですし、子どもたちも興味持って聞くのではないかと思います。あとは広がり方だと思います。

○委員 私はノーベル医学・生理学賞は小学校でも中学校でもいいと思います。視点を変えてお話しするとわかりやすいと思います。これは画期的なものです。

小学校は小学校、中学校は中学校の視点で、考え方を換えれば、両方ともいいと思います。小学校では膨大な実験を繰り返しながら自分が納得できるまで行い、これまで相当な努力をしてきたという視点だし、中学校では、世の中に役立つものという視点を加えると、大分違った視点で話すことができると思います。

○教育長 中学校は消去法でいくと、イトウの題材は2020年でも間に合うと思いますので、ノーベル医学・生理学賞が最も適していると思います。

したがって、各委員の意見を踏まえ、中学校はノーベル医学・生理学賞に決めさせていただきます。

小学校ですけれども、ハニカム構造については、今年の折り紙が、広げる宇宙での姿というのはイメージしやすかった。今回は、イメージするものが中に隠れている、子どもたちが見たことのない部分で、弱いと思います。

例えば宇宙での姿というのは映像で子どもたちも見ていますし、イメージしやすかったわけで、題材としては子どもたちの、科学する心という意味ではいいと思いますが、祝辞としてはインパクト

トが必要だと思いますので、弱いと思います。

それから、新幹線技術も良いテーマだと思いますけれども、日本の新幹線が世界の新幹線の中でどういう位置づけにあるかということをお考えすると、今は世界競争です。1つ目は技術力競争、2つ目は価格競争、それから3つ目は政治の関係もありますので、そういったところまでお考えすると手を出しにくいと思います。

そうすると、ノーベル医学・生理学賞が小学生用と中学生用で分けて書けるかどうかになります。小・中に分けてもそれぞれの発達段階に応じた、小学校6年生、中学校3年生にふさわしい内容に分けて書き切れるかどうか、その辺はどうでしょうか。

○説明員

小学校、中学校両方で書くに当たりまして、本庶先生の成果であるとか、いろいろなエピソードなどを集めてきたところではございますが、発達段階を考えて、小学生に伝わるもの、中学生だったら伝わるからぜひ入れたいものというような形で、伝えられるものがそれぞれ一定数あったと感じております。

それをどういった形で組み立て、この主題に沿って表現していくかということになると、どうしても説明すると長くなるのですが、そこをうまく絞って、晴れの日にふさわしい言葉でしっかり伝えていく必要がございますが、小・中学校それぞれの段階で書き分けていくということは十分にできると考えております。

○委員

ノーベル医学・生理学賞はとても大きいので、これが小・中で書き分けられるのだったら良いと思います。

確かに新幹線は、世界に誇れる技術ですが、外国で負けています。小学生にわかりやすいと思いますが、そういうことを考えていくと、どうかと思います。

○委員

そうですね。書き分けていただけるなら、小学生にわかりやすく、そして粘り強く頑張るところだけではなく、何かわくわくできる、何か革新的なことにつながるんだという文章にしていきたいと思います。

そこをきっちりわかりやすく書き分けていただけるなら、ノーベル医学・生理学賞でいいと思います。

○教育長

各委員の意見を踏まえ、小学校もノーベル医学・生理学賞で決定したいと思います。

○教育長

その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第6を議題とします。

(日程第6 平成31年成人の日のつどい実施結果について)

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はございますか。
- 委員 今、障害者と健常者がともに手を取りあう大きな流れがある中で、この成人式の障害者の出席の推移はどうなっていますか。
- 説明員 障害者の出席では特に統計はとっておりません。今年も知的障害の方から連絡がありまして、知的障害の方も参加したという状況でございます。
- 教育長 小ホールに50席ほど設けて、式典をモニターで見られるようになっていました。実際に見ている人は何人ぐらいでしたか。
それから、会場の外で保護司会等、色々な団体がPRしていることもありました。今回はなかったようにも思いますが、具体的にどのようなことが行われていたのですか。
- 説明員 小ホールでございますが、大ホールに入り切れないという状況がございましたので、小ホールに何人かの新成人を案内したと聞いております。
会場の外ですが、今回、消防団がPR、そして碑文谷警察署が敷地内でPRしたという状況です。
- 教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第7を議題とします。

(日程第7 教育委員会名義の使用承認状況について)

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時48分閉会)